

概要

局内におけるDXの推進を図ることにより、電子決裁化によるペーパレス化、ムーブレス化等に対応する新しい業務システムを構築する。

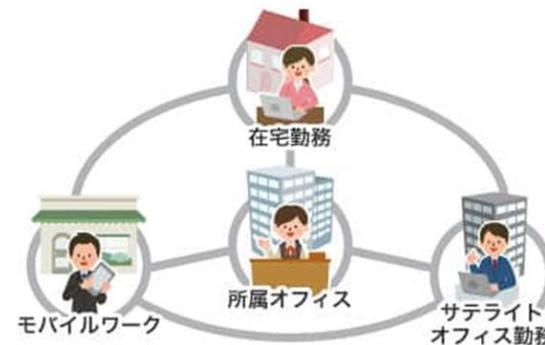
- ① 有線LANから無線LANへの切替
 - ② テレワーク対応端末機への入替（ムーブレス化）
 - ③ L G W A N（総合行政ネットワーク）環境でのシステム構築
 - ④ 企業会計システムの電子決裁化（ペーパレス化）
- ◆事業費 92,395千円（2023年～2029年度 債務負担行為）

スケジュール

R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)
① 無線LAN 機器設置				
	② 端末機器入替			
		③ ネットワーク環境構築	運用	
		④ システム構築	運用	

効果

【新しい働きかた】
（例）テレワーク（モバイルワーク）



厚生労働省・働き方・休み方ポータルサイト より

- 端末機持参で会議等に参加
 - ・会議資料（紙）の事前印刷配付が不要
 - ・多くの資料持込が不要（ファイルサーバ活用）
 - ・会議中の情報検索が可能（インターネット活用等）
- テレワークと事務室ワークがシームレスに接続
 - ・在宅や出先等 ⇒ 閉域モバイル回線接続
 - ・事務室 ⇒ 庁内Wi-Fi接続
- 業務系システムのL G W A N環境での運用
 - ・1人複数台の端末の使用 ⇒ 1人1台での運用
272台 ⇒ 180台（92台減）
 - ・コスト削減
年額18,209千円 ⇒ 年額5,986千円（12,224千円減）